



学校だより

郡山市立海老根小学校
第8号
令和7年6月19日(木)
文責:校長 宗像善吉



プール開き

6日(金)に待ちに待ったプール開きが行われました。学習委員会が進行を務め、はじめの言葉、めあて発表、おわりの言葉などの役割を分担しながら、上手に進めることができました。



校長からは、3つのことを話しました。

1つ目は、「感謝」を忘れないこと。保護者をはじめ、たくさんの方々の協力があって、プール開きができています。



2つ目は、「具体的な目標を持つ」こと。去年より少し高い目標を決め、目標を達成するために何をしたらよいか具体的に考えて、水泳学習に取り組むこと。

3つ目は、「自分の命は自分で守る」こと。決まりや約束は、自分たちの命を守るためにあり、水の事故は、命を失うことに直結することも話しました。

めあて発表では、4年の　　さんは「25メートルをクロールで泳ぎたい」5年の　　さんが、「50メートルを　　君とすいすい泳ぎたい。平泳ぎも泳げるようになりたい」6年の　　さんは「クロールで25メートルを泳ぎたい」とめあてを述べました。



先生の諸注意の後、いよいよ入水です。プールの水は、数日前に満水になっていましたが、「冷たい!」と言いながらも嬉しそうに入水していました。入水した後は、基本の泳ぎの確認です。先生の指示のもと、ふし浮きやバタ足、クロールを行いました。その後は、お楽しみの自由泳ぎです。みんなで追いかけてこしたりもぐったりしながら水に慣れ親しみました。その姿には、これからの水泳学習を楽しみにしている様子がうかがえました。

租税教室



10日(火)には、郡山税務署より2名の税務事務官の方においでいただき租税教室を行いました。お二人は、宮城県と山形県のご出身で、税務事務官になって2年目と3年目、郡山が初めての赴任地ということでした。郡山の印象をお聞きしたところ大変住みやすい街ということでした。租税教室は、　　さんが中心になって進められ、税金に関するクイズや税金の使われ方などについてわかりやすく説明してくださいました。税に関するアニメ動画もあったので、子どもたちは、税金の大切さを理解したようでした。

次に1億円のレプリカを持ってきていただいたので、全員が持たせていただきました。1億円を受け渡すときにその重さを実感したらしく、「重い」と口々に話していました。子どもたちには、自分の就きたい職業に就いて、自分の力が発揮できる仕事に就けるよう小学校から力を蓄えさせたいと考えています。ご家庭でもお子さんが将来どんなことをしたいか、どんな仕事に就きたいかなどを話題にしていただければ幸いです。



宮城中学校区学校運営協議会

9日(月)に宮城中学校区学校運営協議会が開かれました。各校の校長より今年度の経営方針の説明や、情報交換なども行われました。

委員からは、中学校の部活動の現状について、少人数を生かした教育活動の推進について、学校経営の方針を伝える場の確保についてなどの質問やご意見をいただきました。

なお、11名の委員のうち、北高倉町内会長の　　さん、海老根町内会長の　　さん、

宮城小P会長の　　さん、

本校PTA会長の　　さん、

宮城中P会長の　　さん、

さんの5名の方が今年度新たに委員に委嘱されました。よろしくお願いします。

